

総領事館便り9月号

★エムポックス対策に伴うインドネシア入国規制の強化

インドネシア運輸省は、エムポックス（旧称：サル痘）のインドネシア国内流入を防ぐため入国規制を強化すると発表し、インドネシアへ入国する全ての渡航者を対象に SATUSEHAT Health Pass の電子自己申告フォームに健康状態及び渡航歴などを入力することを義務付けました。ジュアンダ国際空港では、9月3日現在、まだ本件運用は開始されていないとのことですが、段階的に運用を開始する予定である旨当局から情報がありました。なお、スカルノハッタ空港及びバリのングラライ空港については、すでに運用は開始されているとのことです。

具体的な手続きの流れは以下のとおりです。

- (1) インドネシアに入国する海外渡航者（フライト乗務員、乗客）は、出発空港にて、SATUSEHAT Health Pass（下記リンク）の電子自己申告フォームに記入する。

SATUSEHAT Health Pass: <https://sshp.kemkes.go.id/>

（注）本件申告フォームは、ウェブシステムであり、以前コロナ禍の際に使用した SATUSEHAT アプリではありません。

- (2) 全ての事項に記入するとQRコードが表示されるため、スクリーンショットまたはプリントアウトしておく。
- (3) 到着時の空港でQRコードを提示する。
- (4) 到着時の空港では、別途体温検査等を実施する場合もあり、発熱がある場合は、PCR検査等を実施する。

電子自己申告フォームは小人・幼児も含めて一人ずつ行います。お子様の入力については、保護者が代わって行い、別々にスクリーンショットまたはプリントアウトしておく必要があります。

●インドネシア運輸省航空総局HP（インドネシアへ入国する渡航者の電子自己申告フォーム使用義務についてのお知らせ）:

<https://hubud.dephub.go.id/hubud/website/berita/4669>

●インドネシア保健省（SATUSEHAT Health Pass の準備）:

[EHAT Health Pass Preparation for Mpox 2024 at Entry Point](#)

●エムポックスについて（厚生労働省HP）:

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/monkeypox_00001.html

●感染症広域情報：エムポックスに関する注意喚起（「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）」の宣言）:

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_20240333.html

★日本企業支援セミナーの開催について

8月14日、在スラバヤ日本国総領事館講堂において、当総領事館主催により、日本企業支援セミナーを開催しました。本セミナーは、主にインドネシアの日系企業を対象としたもので、対面方式とオンライン方式両方合わせて約100名の参加がありました。

講演者である 森・濱田松本法律事務所の竹内哲氏及び本間久美子氏から、「インドネシアビジネスの攻め方・守り方～インドネシアビジネスにまつわる関係当事者との付き合い方～」をテーマに、日系企業が日頃から関わりのある、インドネシア政府当局、合併相手、取引相手、従業員などの関係当事者との付き合い方とその対応についてご説明していただきました。講演の中で、何かが起きてから対応するのではなく予防的な対応の重要性や困った時に助けてもらえるように平時の良好な人間関係の構築の大切さなどを、様々なカウンターパートとの間の具体的な事例を通じて、わかりやすくご説明いただきました。今回のセミナーの内容が、日系企業の皆様の日頃のお仕事の参考となることを願っております。



★第3回東ジャワ地区日本語プレゼンテーション大会の開催

9月7日、在スラバヤ日本国総領事館及び国際交流基金主催、スラバヤ・ナフダトゥール・ウラマー大学（UNUSA）の協力を得て、「第3回日本語プレゼンテーション大会」を開催しました。東ジャワ州で日本語を学ぶ大学生ら9名が「ニュースから見る社会」をテーマに日本語でプレゼンテーションを行いました。東ジャワ州は、インドネシア国内で西ジャワ州に次いで日本語学習者数が多く、今回の大会でもレベルの高いプレゼンテーションが披露されました。東ジャワ地区の優勝者と準優勝者は、日本語プレゼンテーション・インドネシア全国大会に出場予定です。昨年は、東ジャワ地区から全国大会に出場した2名が、全国大会で優勝、第4位入賞し、東ジャワの日本語学習のレベルの高さを示しました。

優勝者：アデリア・ニラ・カルティカサリさん（ブラウイジャヤ大学日本文学科）

準優勝者：ナディラ・プラメスティ・チャフヤニさん（ブラウイジャヤ大学日本語教育学科）

